

整備兵としての戦争体験のこと

匿名希望（祖父から聞いた話 大正 12 年生まれ）

祖父（現在も健在です）は、整備兵として神戸の航空隊にいた時に、初めて空襲に遭い、飛行場で逃げようとして、一緒に逃げていた友人が足を打たれたので担いで必死に何とか助かったそうです。

終戦時は阿蘇のふもとで迎えましたが、残ったわずかな飛行機を山に隠して 1 か月程いたようです。